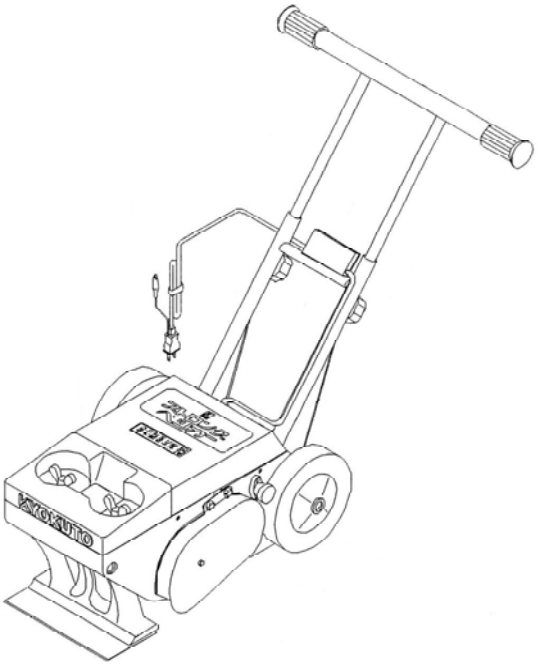
A99-H157-00

KYOKUTO



強力床材剥がし機

ストロングペッカー

型式　SM－１６

取扱説明書

安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は強力床材剥がし機「ストロングペッカー」をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にお使い頂くための事柄を記載しています。ご使用の前に本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、本書はいつでも利用できるよう大切に保管して下さい。

極東産機
'10.01.22
参考

お使いになる前に

本機をご使用になる前に、下記の付属品が揃っていることを
ご確認下さい。

・剥がし機本体	・グリス	・両口スパナ（ 8㎜×10㎜）
・取扱説明書（本書）	・グリスポンプ	・両口スパナ（13㎜×17㎜）
・インテリア機器登録カード	・刃物カバー	・スパナ
・替刃／普通刃	・工具袋	・六角レンチ（3㎜）
・替刃／シート刃	・ドライバー（＋）	・T型ボックスレンチ（13㎜）
・替刃／強力刃	・刃物継ピース（小3個）	

品質には万全を期しておりますが、万一、不足や運送中の破損
等があった場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。

目　　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2

全体外観図及び各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

作業準備

　作業前確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

　ハンドル調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

　移動時・運搬時の操作方法 ・・・・・・・・・・・・・ 4

　刃物の取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

　刃物の角度調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

床材剥がし作業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

保守点検

　ベルト調整と取り替え ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

　グリスの給脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

　刃物の研磨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

　継ぎピースのセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

過負荷遮断機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

トラブルチェックリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

安全上のご注意

ストロングペッカーをご使用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで床剥がし作業は行わないで下さい。この取扱説明書では、取扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により　⚠[警告]　⚠[注意]［メモ］ という項目に分類して表示しています。

⚠［警告］ ‥‥ この表示を無視して誤った取扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

⚠［注意］ ‥‥ この表示を無視して誤った取扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

［メモ］ ‥‥ これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

運搬時

搬入・搬出および移動時は必ず刃物を外して下さい。

車への積み降ろしは、ウェイトを外し、必ず大人２名以上で行って下さい。
また、調整ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

保管時

水平な場所に保管して下さい。

保管時は必ず刃物を外して下さい。

高温・多湿な場所に保管しないで下さい。

刃物カバーのある刃物は、必ず刃先に刃物カバーを取り付けて、布袋・箱等に入れ保管して下さい。

安全上のご注意

作業時

本機はＡＣ１００Ｖ用です。ＡＣ１００Ｖ以外の電源では使用しないで下さい。

煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機械本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

作業時は本機の上に人が乗ったり刃物前方での作業を行わないで下さい。

作業前及び作業３～４時間毎にグリスアップを行って下さい。

その他

床材の剥がし作業以外の時は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

電源プラグを抜く際は電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。

定期的に各部のネジは増し締めを行って下さい。

全体外観図及び各部名称

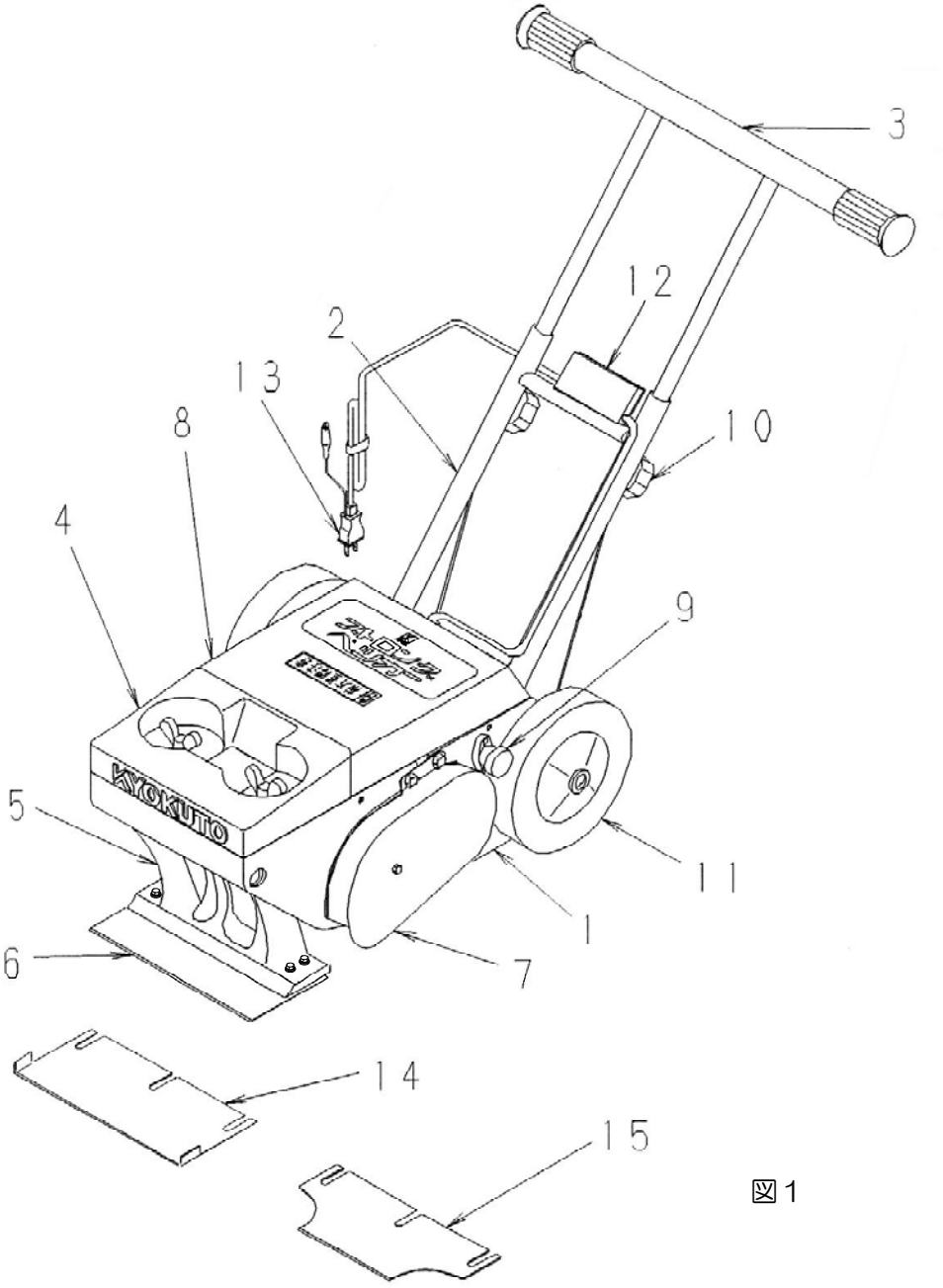


図1

1．本体
2．固定ハンドル
3．調整ハンドル
4．ウエイト
5．刃物ブラケット
6．普通刃
7．ベルトカバー
8．カバー
9．角度調整ノブ
10．ハンドル調整ノブ
11．走行車輪
12．スイッチ
13．電源プラグ
14．シート刃
15．強力刃

作業準備

作業前確認

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい。

◇ＡＣ１００Ｖ、１５Ａ以上の電源が確保できる工事現場であること。
◇刃物部分がきれいに研がれていること。
◇グリスが充分に給脂されていること。
◇ベルトの張り具合が適当であること。
◇各部の取付ネジに緩みがないこと。

MEMO

壁際やコーナー・階段等は「コンパクトペッカー」またはチーゼルワイス・クリーパー等と合わせてご使用頂くとより効率よく作業できます。

ハンドル調整

［1］ハンドル調整ノブを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。

［2］ハンドル調整ノブを締め込み、調整ハンドルをしっかりと固定して下さい。

警　告

ハンドル調整ノブは、きつく締め付けて下さい。
また、作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

移動時・運搬時の操作方法

［1］移動の際は、スイッチがＯＦＦになっている事を確認し、刃先を浮かせた状態で移動して下さい。（図２参照）

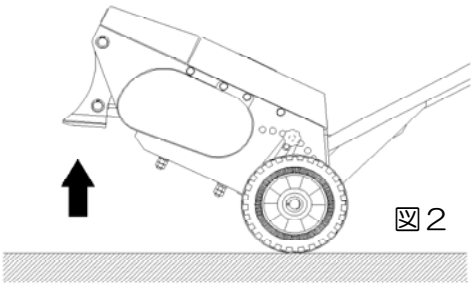


図２

［2］車への積み降ろしや運搬の際は、本体前部に蝶ボルトで取付いているウエイトを取外し（図３参照）、 大人２人以上で積み降ろしを行って下さい。

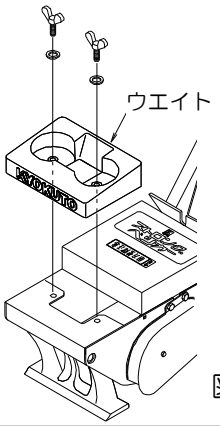


図３

注　意

調整ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

作業準備

刃物の取付

［1］図４のように刃物ブラケット部を浮かせて下さい。

警　告

取付作業中はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

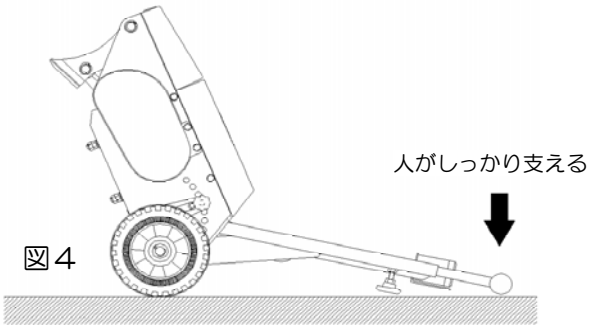


図４

［2］刃物の研磨面を上向きに奥まで差込みます。
（図５参照）

MEMO

摩耗して短くなった刃物は、継ぎピースを使用して下さい。
※９頁参照

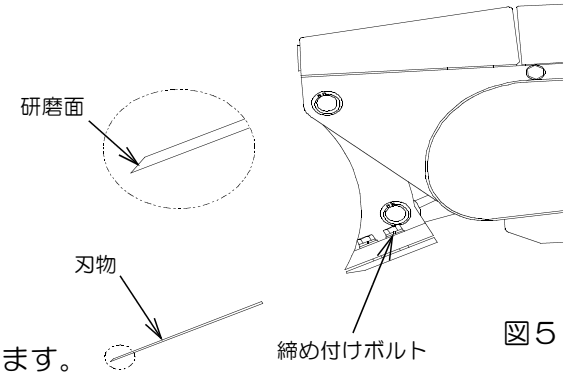


図５

［3］４本の締め付けボルトをしっかりと締め込みます。

警　告

・刃物は奥まで差し込み、ボルトは強く締めて下さい。
・作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

刃物の角度調整

［1］刃先を床につけ、車輪を浮かせて下さい。（図６参照）

［2］角度調整ノブを矢印の方向に引っ張り、セット穴の位置を変更して下さい。
但し、セット位置は必ず左右同じ位置に合わせて下さい。（図７参照）

MEMO

刃物を立てるほど床材・下地に食い込みやすくなります。

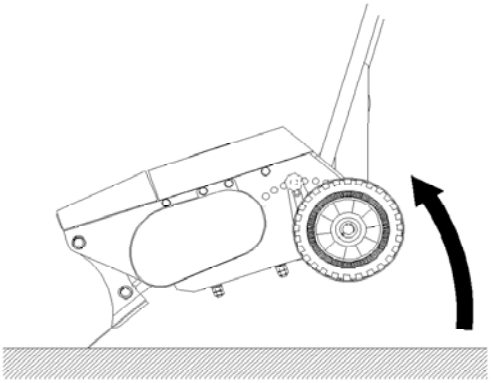


図６

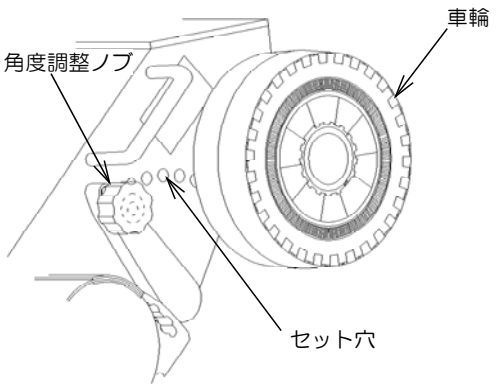


図７

床材剥がし作業

［1］ＡＣ１００Ｖ、１５Ａ以上のコンセントにプラグを差し込みます。

［2］刃先を床から浮かせた状態（図８参照）でスイッチをＯＮにします。

［3］刃先の振動が一定状態になった事を確認し、ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませます。
刃物が食い込まない場合は、刃物の角度調整（５頁参照）に従って調整を行って下さい。

［4］刃先が床材と床下地の間に食い込んだのを確認し、床材の剥がれ状況を見ながら、前方に押して行きます。刃物が床下地に食い込みすぎる場合は、刃物の角度調整（５頁参照）に従って調整を行って下さい。

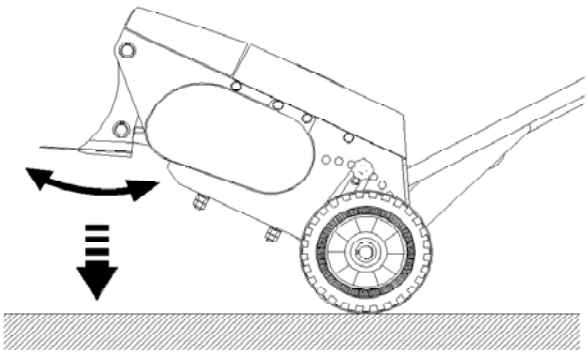


図８

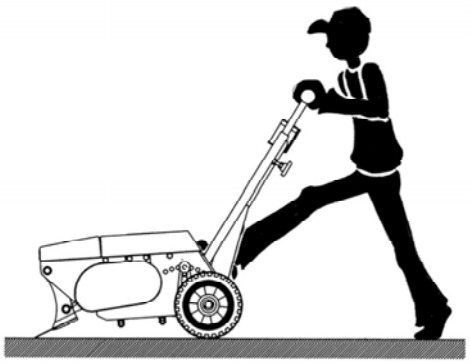


図９

MEMO

振動により機械が後退してくることがありますが、片足を固定ハンドルの締め付けナット（袋ナット）付近に置いて、図９のように足で突っ張りながら刃物を床に押しつけると、機械の後退を抑えられます。

［5］床材の剥がれ具合が悪くなった場合は、新品もしくは研磨した刃物に取り替えるか、取付刃物を研磨して下さい。

MEMO

本機には普通刃の他に２種類の刃物があります。床材の種類、床下地の状況、接着の度合いに合わせて刃物を使い分ければ、より効果的に作業ができます。

普通刃　：一般的な床材剥がしに適しています。
シート刃：ＣＦシート等の長尺床材剥がしに適しています。
　　（サイド刃付き）
強力刃　：頑固に接着している床材剥がしに適しています。

注　意

モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や工事現場の電圧が低下している場合には過負荷遮断機構が作動する事があります。過負荷遮断機構が作動している場合は10頁に記載の要領で復帰させて下さい。

・過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから、再使用して下さい。
・電圧が低下している場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。
　コードリールや延長コード等を使用している場合は、電圧が低下する事がありますのでご注意下さい。

保守点検

ベルトの調整と取り替え

［1］ベルトカバーを外して下さい。

［2］付属のスパナでテンションボルトを緩め、適当なベルトの張り状態にして、テンションボルトを締めて下さい。（図１０参照）

MEMO

ベルトの張り具合はベルト中央を軽く押さえて５～１０㎜たわむ程度が適当です。

［3］ベルトカバーを取り付けて下さい。

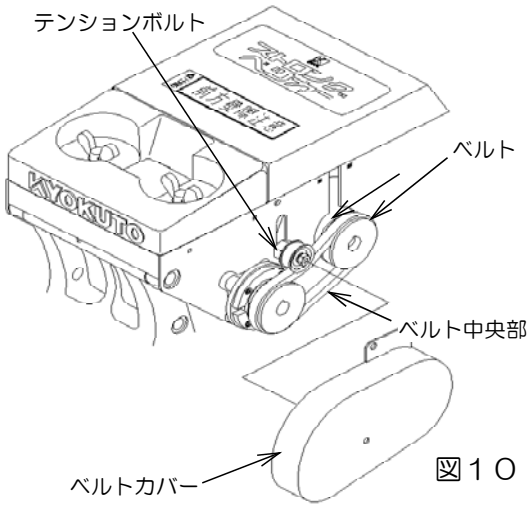


図１０

警 告

作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

注 意

ベルトに損傷がある場合は必ず新しい物に取り替えて下さい。

グリスの給脂

［1］ウエイトを外して下さい。
（４頁 図３参照）
グリスニップルにグリスポンプで給脂して下さい。（図１１参照）

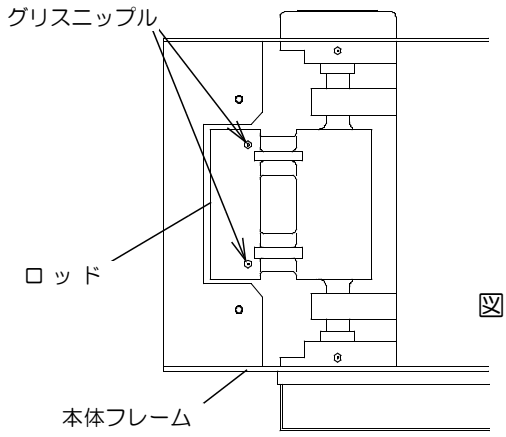


図１１

［2］ウエイトを取り付けて下さい。

警 告

作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

注 意

作業前には必ず給脂して下さい。

保守点検

刃物の研磨

剥がれ具合が悪くなった刃物は、図１２に示すようにグラインダー等で刃先を研磨して下さい。

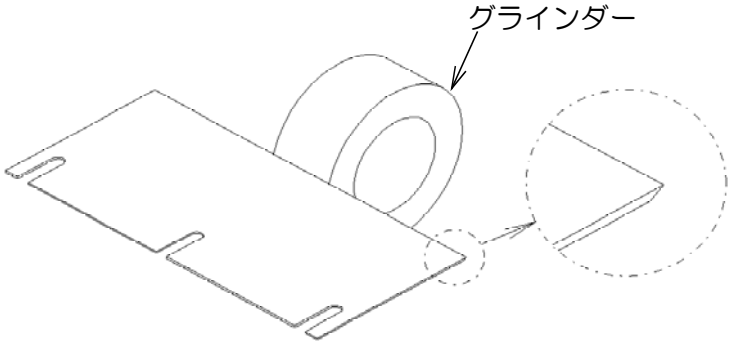


図１２

警 告

研磨時は必ず保護メガネ等の保護具を着用して下さい。

注 意

刃物が短くなった場合は、早めに新しい刃物と交換して下さい。

MEMO

新しい刃物や再研磨した予備の刃物がない場合は、図１３のように刃物を取り付けたままディスクグラインダーで研磨する事も可能です。
但し、作業の際はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

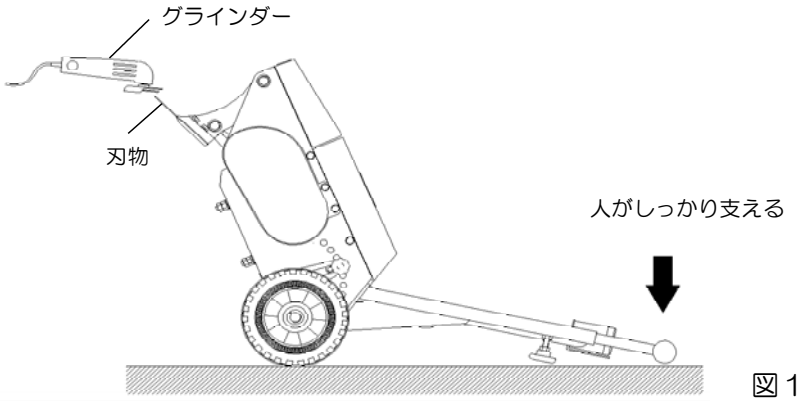


図１３

警 告

作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

継ぎピースのセット

［１］摩耗して短くなった刃物は継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。
（図１４参照）

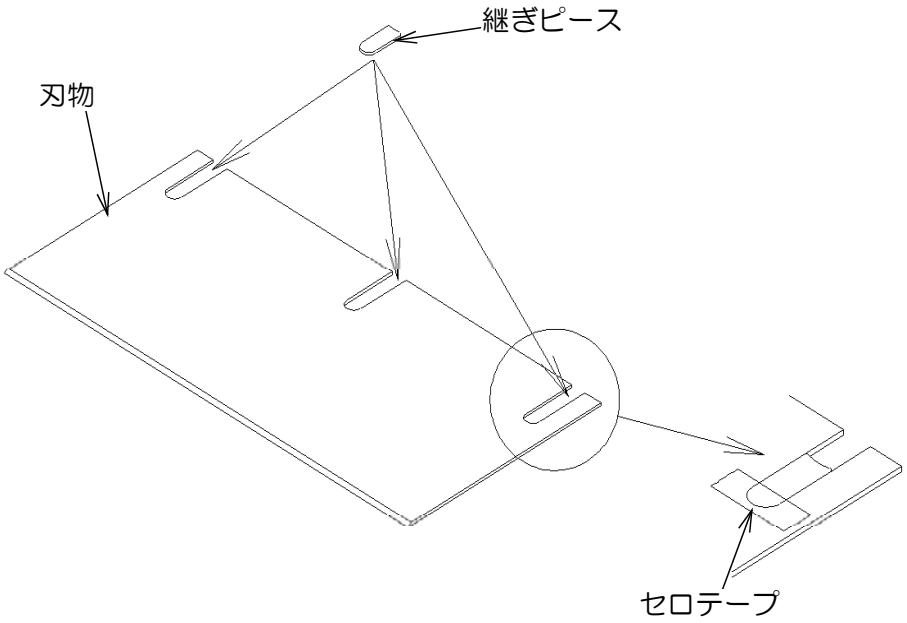


図１４

注 意

継ぎピースを使用しても使えなくなった短い刃物は新しい刃物に取り替えて下さい。

過負荷遮断機構

本機には過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。作業中に過負荷（定格電流９Ａ以上）になると自動的に電流が切れますので、作業を再開されるには過負荷の原因を取り除きスイッチをＯＮにして下さい。過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は、遮断機構の設定値を変更して下さい。（図１５参照）

注　意

・コードリールや延長コード等でケーブルを延長して電圧が低下している場合に過負荷遮断機構が働く場合があります。この場合にはケーブルの延長をやめ、本機の電源プラグを直接コンセントに差し込んで下さい。
・工事現場の電源電圧自体が低下している場合には、昇圧器（別売）を利用して電圧をＡＣ１００Ｖに昇圧した後にご使用下さい。

設定値の変更

［1］スイッチがＯＦＦになっている事を確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

［2］スイッチカバー固定ネジを緩め、スイッチカバーを外して下さい。

［3］スイッチ内部にある設定値変更ダイヤルをマイナスドライバーで右に回し、設定値を変更して下さい。

［4］スイッチカバーを取り付けて下さい。

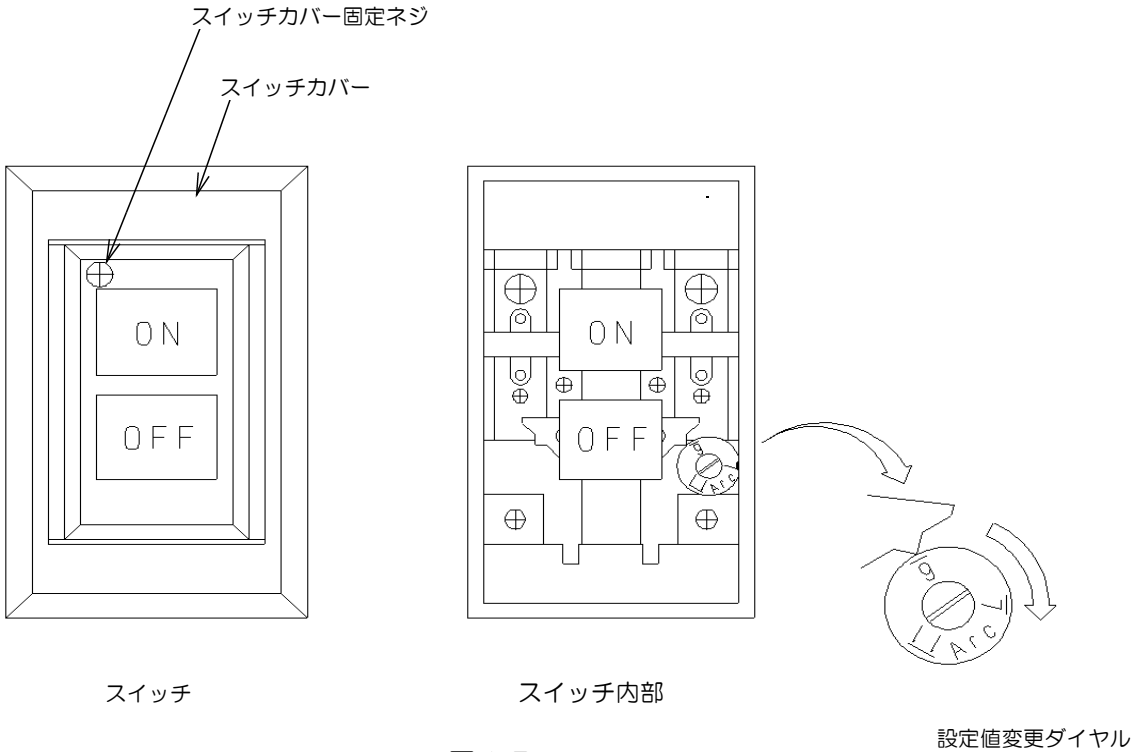


図１５

トラブルチェックリスト

本機に何らかの異常が生じた場合は、次の手順に従ってチェックし対処して下さい。
全ての項目をチェックしても解決しない場合、もしくは要修理となった場合には、お求めになられた販売店、又は弊社までご連絡下さい。

刃物が動かない

確認項目	チェック	対処方法
電圧がＡＣ２００Ｖに なっていませんか？		モーターやスイッチが焼けて いないか確認して下さい。 焼けている場合、 壊れている可能性があります。 （要修理） 焼けていないことを確認されたら ＡＣ１００Ｖの電源に 接続して下さい
電源スイッチが入っていますか？		電源スイッチをＯＮにして下さい。
電源コードに損傷はありませんか？		断線の可能性があります。 （要修理）
コンセントに電気は来ていますか？		正常なＡＣ１００Ｖの電源に 接続し直して下さい。
電圧が低くなっていませんか？		低くなっていると モーターの出力が低下することが あります。 正常なＡＣ１００Ｖの電源に 接続し直して下さい。
刃物用モーターは動いていますか？		動かない場合は、 モーターの故障、又は配線の断線か 接続不良の可能性があります。 （要修理）
ベルトが緩んだり、切れたり していませんか？		ベルトの調整、又は 交換をして下さい。
グリスは所定の番号のグリスが 充分給脂されていますか？		＃０のグリスを給脂して下さい。

仕　様

製品コード	**０５２－００４３－１０**
全長	**８５５mm（ハンドル下降時）**
全高	**６５６mm（ハンドル下降時）**
全幅	**４８０mm**
全質量	**７４ｋｇ（ウエイト：１１.５ｋｇ含む）**
モーター	**ＡＣ１００Ｖ，５５０W全閉外扇モーター**
刃先振動数	**１,９５６ｍｉｎ$^{-1}$（回／分）　５０Ｈｚ** **２,３４７ｍｉｎ$^{-1}$（回／分）　６０Ｈｚ**
刃幅	**２７０mm（普通刃）** **２８０mm（シート刃）** **１５０mm（強力刃）**

製品仕様は改良等のため、予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー
極東産機株式会社
〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00～18:00）